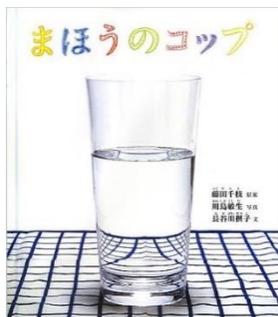




### 「ぼく、だんごむし」

得田 之久／ぶん  
たかはし きよし／え  
福音館書店

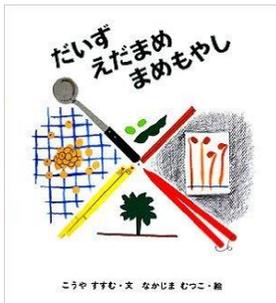
ぼく、だんごむし。みんなはぼくたちのこと、どれくらいしってる？すんでいるところとか、たべるものとか、すこしくらいならおよげちゃうこととか。ぼくたちのこと、すきになってくれたらうれしいな。



### 「まほうのコップ」

藤田 千枝／原案  
川島 敏生／写真  
長谷川 摂子／文  
福音館書店

コップと水のまほうです。水のはいったコップのうしろにもものをおくと、なんでもかんでもぐんにやり、べろりーん。ふしぎなかたちにだいへんしん。ひとつがみつつにふえたのもあったよ。ためしてごらん。



### 「だいでず えだまめ まめもやし」

こうや すすむ／文  
なかじま むつこ／絵  
福音館書店

くいしんぼう三兄弟は、となりのおじいさんに1人10つぶだいでずをもらいました。でもこれではおなかいっぱいにならないとふまんそう。畑にまいてだいでずをふやそうと育てますが、だいでずにはあるひみつが…。



### 「ことばあそびうた」

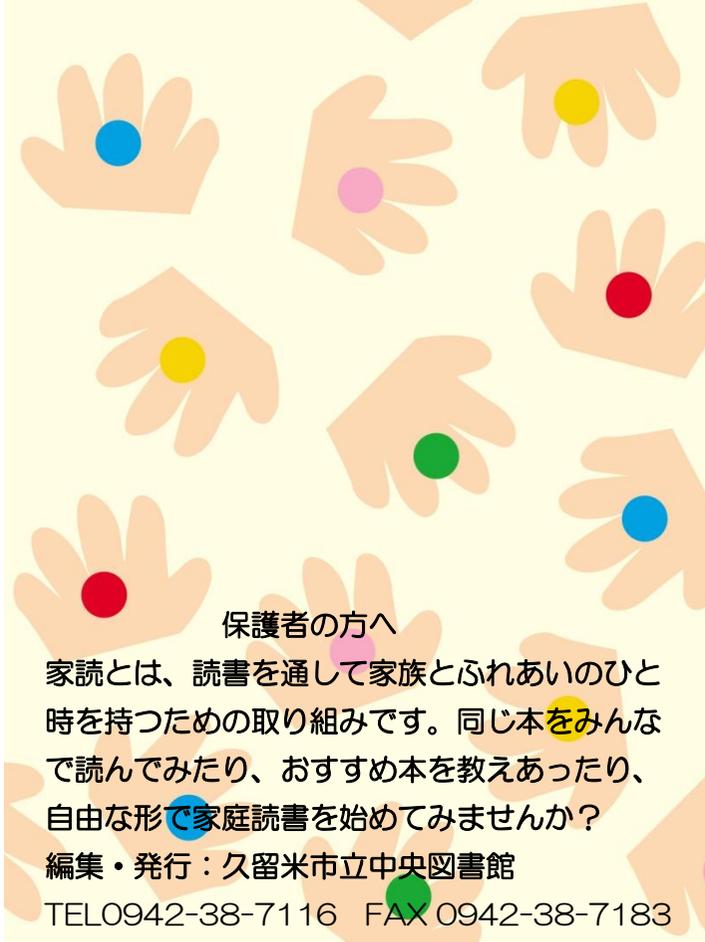
谷川 俊太郎／著  
瀬川 康男／絵  
福音館書店

「かっぱかっぱらった／かっぱらっばかっぱらった／とってちってた」こんなことばあそびの詩が15入っています。声に出してあそんでみよう。だれが1番すらすらよめるかな？4色のさし絵もたのしいよ。

# 1 2 年生 うちどくりスト

## このほんよかよ

うちどくは おうちで かぞくと  
ほん本をよむこと。すきな本をみつけて  
かぞくにおしえよう！



### 保護者の方へ

家読とは、読書を通して家族とふれあいのひと時を持つための取り組みです。同じ本をみんなで読んでみたり、おすすめ本を教えあったり、自由な形で家庭読書を始めてみませんか？  
編集・発行：久留米市立中央図書館  
TEL0942-38-7116 FAX 0942-38-7183



## 「おかん」

平田 昌弘／ぶん  
平田 景／え  
大日本図書

「なあ、おかん」「なんや?」「なあ、おかん」「だから、なんや?」「よんだだけや」男の子とお母さんのわいわいおしゃべりえほん。シリーズで『おとん』もあります。みんなは家族とどんなおしゃべりしてるかな?



## 「となりのせきのますだくん」

武田 美穂／作・絵  
ポプラ社

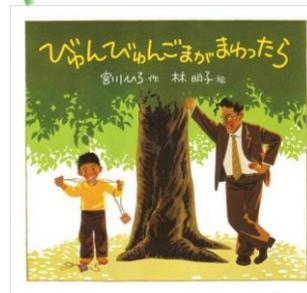
みほちゃんのとなりのせきのますだくんは、いつもいじわるです。かえりのじかんに、ますだくとけんかをしてしまったみほちゃんは、がっこうに行きたくありません。ちゃんとかなおり、できるかな?



## 「きょうはなんのひ?」

瀬田 貞二／作  
林 明子／絵  
福音館書店

「しーらないの、しーらないの しーらないの きゃ かいだん三だんめ」まみこがかくしたてがみをさがしていくおかあさん。まるでたからものさがしのようなおはなしに、わくわくします。さて、きょうはなんのひでしょう?



## 「びぶんびぶんごまがまわつたら」

宮川 ひろ／作  
林 明子／絵  
童心社

こうすけたちは、すてきなあそびばをとりかえすために、あまのじゃくなこうちょう先生とのびぶんびぶんごま合戦にちょうせんします。さあ、びぶんびぶんごまはまわるかな? あそびばはもどってくるかな?



## 「ゆめをにるなべ」

茂市 久美子／作  
土田 義晴／絵  
教育画劇

みかづき 三日月さんは、あなのあいたなべやかまをしゅうりする“いかげやさん”です。ある春の夜、ふしぎなおなべをもった女の子がやってきたことで三日月さんのまわりでふしぎなことがおこりはじめて・・・。



## 「はじめてのキャンプ」

林 明子／さく・え  
福音館書店

ともこお婆さんと大きい子たちは、あさってキャンプへ出かけます。それを聞いたなほちゃんは、わたしもキャンプに行く!と言いますがまわりの大きい子たちは大はんたい。キャンプってどんなことするのか?

